

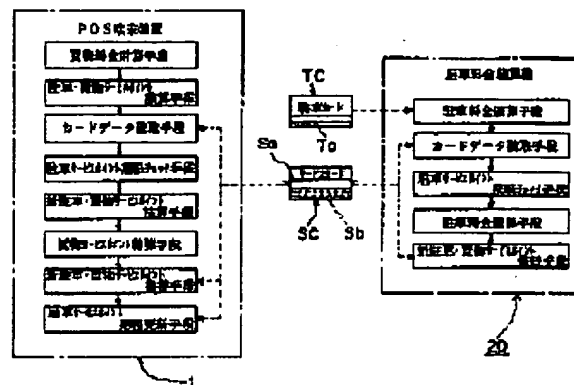
METHOD AND DEVICE FOR SERVICE MANAGEMENT

Patent number: JP8016668
 Publication date: 1996-01-19
 Inventor: MAKIMURA TOMOO
 Applicant: AMANO CORP
 Classification:
 - International: G06F17/60; G07G1/12
 - european:
 Application number: JP19940172132 19940630
 Priority number(s): JP19940172132 19940630

Abstract of JP8016668

PURPOSE: To provide an equal service to any shopper, by selecting either parking charge service or shopping discount service arbitrarily for the shopper and receive the selected service with the other service subjected to a minus settlement linked with the selection.

CONSTITUTION: A POS terminal equipment 1 is installed on the side of a store, and a parking charge adjuster 20 is installed at a parking lot. When a service card SC is inserted into the POS terminal equipment 1 at the time of settling the account of a shopping amount, the new parking/shopping service amount is calculated and recorded in the service card SC. While using this service card SC, the shopping amount of the parking charge can be adjusted and at the time of settlement of account, both the service amounts are linked with together so that minus settlement of account can be performed.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-16668

(43)公開日 平成8年(1996)1月19日

(51)Int. Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 17/60

G 0 7 G 1/12

3 6 1 E

G 0 6 F 15/21 3 1 0 Z

3 4 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数6

F D

(全8頁)

(21)出願番号 特願平6-172132

(22)出願日 平成6年(1994)6月30日

(71)出願人 000101617

アマノ株式会社

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地

(72)発明者 牧村 倫雄

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地

アマノ株式会社内

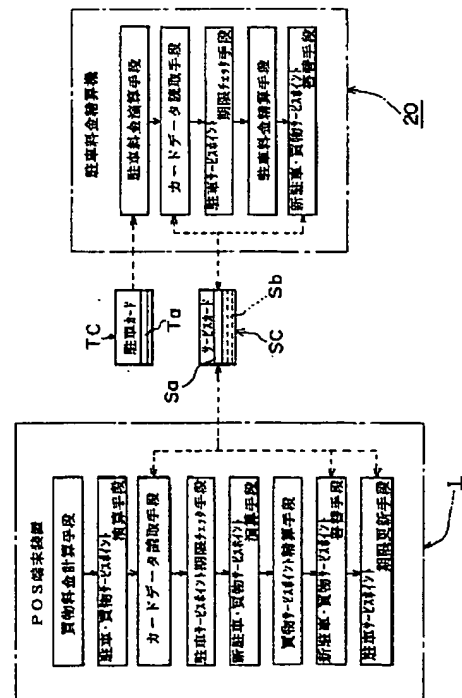
(74)代理人 弁理士 矢島 正和

(54)【発明の名称】 サービス管理方法とその装置

(57)【要約】

【目的】 買物客が駐車料金サービスと買物金額サービスのいずれかを自由に選んで利用でき、いずれか一方のサービスを受けると、他方のサービス金額もこれにスライドしてマイナス精算されて、いずれの買物客に対しても公平なサービスを提供する。

【構成】 店舗側にPOS端末装置1を設置し、駐車場には駐車料金精算機20を設置して、買物金額を精算する時にPOS端末装置1にサービスカードSCを挿入すると、新たな駐車・買物サービス金額が演算されてサービスカードSCに記録され、このサービスカードSCを用いて買物金額又は駐車料金の精算を可能と成し、精算時にはこれ等双方のサービス金額が一緒にスライドしてマイナス精算される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 買物客が購入した買物金額に応じて、駐車料金のサービスとか買物金額のサービスと云った各種のサービスを行うようにしたサービス管理方法に於いて、

上記の買物金額から駐車サービスポイントと買物サービスポイントを夫々演算して、これ等各サービスポイントをサービスカードに順次更新して記録し、この記録した駐車と買物の各サービスポイントを駐車料金と買物金額のいずれの精算にも利用可能と成し、且つ、駐車料金又は買物金額のいずれか一方の精算に上記のサービスポイントを利用すると、他方のサービスポイントがスライドしてマイナス精算されて、これ等精算された駐車と買物の各サービスポイントを新たなサービスポイントとしてサービスカードに書替えて記録することを特徴とするサービス管理方法。

【請求項 2】 買物金額から演算された駐車サービスポイントと買物サービスポイントをサービスカードに更新して記録するに当たって、サービスカードに記録されている駐車サービスポイントの有効期限をチェックし、有効期限が切れている駐車サービスポイントに付いてはこれを削除して、新たな駐車サービスポイントを演算することを特徴とする請求項 1 記載のサービス管理方法。

【請求項 3】 買物客が購入した買物金額に応じて、駐車料金のサービスとか買物金額のサービスと云った各種のサービスを受けられるように構成したサービス管理システムに於いて、

店舗側に設置される POS 端末装置と、駐車場側に設置される駐車料金精算機とによって構成され、且つ、POS 端末装置には、買物金額を算出する買物料金計算手段と、算出された買物金額から駐車と買物の各サービスポイントを演算するサービスポイント演算手段と、挿入されたサービスカードから記録されている駐車と買物の各サービスポイントを読み取るカードデータ読取手段と、この読取った各サービスポイントに上記演算した各サービスポイントを加えて新たな駐車と買物の各サービスポイントを演算する新駐車・買物サービスポイント演算手段と、新たに演算された買物サービスポイントを利用して買物金額を精算する買物サービスポイント精算手段と、精算を済ませた新たな買物サービスポイント、並びに、この新たな買物サービスポイントにスライドしてマイナス精算された新たな駐車サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段を具備せしめる一方、上記の駐車料金精算機には、駐車カードの挿入に従って駐車料金を演算する駐車料金演算手段と、挿入されたサービスカードから駐車サービスポイントを読み取るカードデータ読取手段と、この読取った駐車サービスポイントを用いて駐車料金を精算する駐車料金精算手段と、精算を済ませた新たな駐車サービスポイント、並びに、この新たな駐車サービスポ

イントに合せてスライドしてマイナス精算された新たな買物サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段を具備せしめたことを特徴とするサービス管理システム。

【請求項 4】 POS 端末装置と駐車料金精算機の双方に、挿入されたサービスカードに記録されている駐車サービスポイントの有効期限をチェックして、有効期限が切れているサービスポイントに付いてはこれを削除する駐車サービスポイント期限チェック手段を設けたことを特徴とする請求項 3 記載のサービス管理システム。

【請求項 5】 POS 端末装置と駐車料金精算機の双方に、挿入されたサービスカードに記録されている駐車・買物サービスポイントを用いて駐車料金及び買物金額を精算するに当たって、駐車・買物サービスポイントよりも駐車料金又は買物金額の方が大きい場合に、その不足金額を表示する表示器を設けたことを特徴とする請求項 3 記載のサービス管理システム。

【請求項 6】 サービスカードに記録される駐車・買物サービスポイントが、買物金額に応じて決められている金額であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4 又は 5 記載のサービス管理方法とその装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、買物客が購入した買物金額に応じて、駐車料金のサービスとか買物金額のサービスを受けられるように工夫したサービス管理方法とその装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、デパートとかスーパー等では、買物をした利用客に対して、例えば特開平 4-304588 号公報とか特開平 5-205125 号公報に見られるような管理システムを用いて、買物金額に応じた駐車料金のサービスを行っており、また、特定のデパートとかスーパー等では、買物した金額に応じて買物金額を一定額割引する金額割引サービスが行なわれている。

【0003】しかし、駐車料金のサービスしか実施せず、金額割引サービスを実施していないデパートとかスーパー等に於いては、駐車場を利用しない客にとっては買物をしてでも割引サービスが全く受けられないため、同じ買物客でありながらサービスに不公平が生じる問題があった。

【0004】そこで、駐車場を利用する買物客には駐車料金をサービスし、駐車場を利用しない買物客に対しては、駐車料金のサービス額に見合った金額を買物金額から割引く買物金額サービスを提供することが考えられた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記の駐車料金サービスと買物金額サービスを一緒に行なう場合は、

買物の都度買物客全員に対して駐車料金サービスを受けるのか、或は、買物金額サービスを受けるのかを夫々問合せてチェックしなくてはならないため、その作業が非常に煩雑でレジが混雑する問題があって、サービスを提供する側にとっても、サービスを受ける側にとっても面倒で容易に利用できない問題があった。

【0006】また、駐車料金サービスと買物金額サービスを一緒に実施する場合に、双方のサービスを管理するシステムが未だ構築されていないため、買物金額サービスを受けたのに駐車料金サービスを再度受けてしまう買物客もあり、加えて、一般的に駐車料金サービスの金額に比較して買物金額サービスの金額が低く見積もられているため、サービスに不公平が生じる問題があった。

【0007】従って本発明の技術的課題は、買物客が駐車料金のサービスと買物金額のサービスのいずれかを選んで利用でき、而かも、いずれか一方のサービスを受けると、他方のサービスポイント（金額）もこれにスライドしてマイナス精算して、いずれの買物客に対しても公平なサービスを提供できるようにすることである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の技術的課題を解決するために本発明で講じた手段は以下の如くである。

【0009】買物客が購入した買物金額に応じて、駐車料金のサービスとか買物金額のサービスと云った各種のサービスを行うようにしたサービス管理方法に於いて、

【0010】（１） 上記の買物金額から駐車サービスポイントと買物サービスポイントを夫々演算して、これ等各サービスポイントをサービスカードに順次更新して記録し、この記録した駐車と買物の各サービスポイントを駐車料金と買物金額のいずれの精算にも利用可能と成し、且つ、駐車料金又は買物金額のいずれか一方の精算に上記のサービスポイントを利用すると、他方のサービスポイントがスライドしてマイナス精算されて、これ等精算された駐車と買物の各サービスポイントを新たなサービスポイントとしてサービスカードに書替えて記録すること。

【0011】（２） 買物金額から演算された駐車サービスポイントと買物サービスポイントをサービスカードに更新して記録するに当たって、サービスカードに記録されている駐車サービスポイントの有効期限をチェックし、有効期限が切れている駐車サービスポイントに付いてはこれを削除して、新たな駐車サービスポイントを演算すること。

【0012】買物客が購入した買物金額に応じて、駐車料金のサービスとか買物金額のサービスと云った各種のサービスを受けられるように構成したサービス管理システムに於いて、

【0013】（３） 店舗側に設置されるPOS端末装置と、駐車場側に設置される駐車料金精算機とによって構成され、且つ、POS端末装置には、買物金額を算出

する買物料金計算手段と、算出された買物金額から駐車と買物の各サービスポイントを演算するサービスポイント演算手段と、挿入されたサービスカードから記録されている駐車と買物の各サービスポイントを読み取るカードデータ読取手段と、この読取った各サービスポイントに上記演算した各サービスポイントを加えて新たな駐車と買物の各サービスポイントを演算する新駐車・買物サービスポイント演算手段と、新たに演算された買物サービスポイントを利用して買物金額を精算する買物サービスポイント精算手段と、精算を済ませた新たな買物サービスポイント、並びに、この新たな買物サービスポイントにスライドしてマイナス精算された新たな駐車サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段を具備せしめる一方、上記の駐車料金精算機には、駐車カードの挿入に従って駐車料金を演算する駐車料金演算手段と、挿入されたサービスカードから駐車サービスポイントを読み取るカードデータ読取手段と、この読取った駐車サービスポイントを用いて駐車料金を精算する駐車料金精算手段と、精算を済ませた新たな駐車サービスポイント、並びに、この新たな駐車サービスポイントに合せてスライドしてマイナス精算された新たな買物サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段を具備せしめること。

【0014】（４） POS端末装置と駐車料金精算機の双方に、挿入されたサービスカードに記録されている駐車サービスポイントの有効期限をチェックして、有効期限が切れているサービスポイントに付いてはこれを削除する駐車サービスポイント期限チェック手段を設けること。

【0015】（５） POS端末装置と駐車料金精算機の双方に、挿入されたサービスカードに記録されている駐車・買物サービスポイントを用いて駐車料金及び買物金額を精算するに当たって、駐車・買物サービスポイントよりも駐車料金又は買物金額の方が大きい場合に、その不足金額を表示する表示器を設けること。

【0016】（６） サービスカードに記録される駐車・買物サービスポイントが、買物金額に応じて決められている金額であること。

【0017】

【作用】上記（１）～（６）で述べた各手段は以下の如く作用する。

【0018】上記（１）で述べた手段によれば、１枚のサービスカードを駐車料金と買物金額の精算のいずれにも利用でき、而かも、いずれか一方に利用した場合には他方をスライドさせてマイナス精算するため、いずれの買物客に対しても公平なサービスを提供することを可能にする。

【0019】上記（２）で述べた手段によれば、駐車料金のサービスに付いては、来店客に駐車場をいつでも遅

滞なく利用できる状態にしておくことが駐車場本来のサービスの在り方である点から、有効期限を例えばその当日とか、24時間以内と云うように限定してサービスを制限することによって、駐車場をなるべくあけた状態にして利用客に対して駐車場本来のサービスを提供することを可能にする。

【0020】上記(3)で述べた手段によれば、店舗側にPOS端末装置を設置し、駐車場側に駐車料金精算機を設置することによって、買物客が自分が購入した買物金額に見合った駐車料金サービス、或は、買物金額サービスを選んで受けることができ、また、これ等サービスを受けてもサービスカードに駐車と買物の各サービスポイント(金額)が残っている場合には、これ等の各サービスポイントを再度利用して駐車料金或は買物金額のサービスを公平に受けることを可能にする。

【0021】上記(4)で述べた手段によれば、POS端末装置と駐車料金精算機に設けた各駐車サービスポイント期限チェック手段が、駐車サービスポイントが更新される度にその有効期限をチェックし、且つ、有効期限を過ぎたサービスポイントに付いてはこれを順次削除するため、駐車サービスポイントをいつまでもサービスカード上に残すことがなく、従って、駐車料金サービスを制限して駐車場をなるべくあけた状態にして、利用客に駐車場本来のサービスを提供することを可能にする。

【0022】上記(5)で述べた手段によれば、POS端末装置と駐車料金精算機に於いて、サービスカードに記録されている駐車と買物の各サービスポイントが、駐車料金又は買物金額よりも少ない場合には、その不足料金が演算されて各表示器に表示されるため、不足金額の支払いを速やかに行なって、レジとか駐車場出口口の混雑を解消することを可能にする。

【0023】上記(6)で述べた手段によれば、サービスカードに記録される駐車・買物サービスポイントを、全て具体的な金額で記録することによって、駐車料金及び買物金額のサービスを金額によって明確に確認することを可能にする。

【0024】以上の如くであるから、上記の手段によって上述した技術的課題を解決して、前記従来の技術の問題点を解消することができる。

【0025】

【実施例】以下に、上述した本発明に係るサービス管理方法とその装置の好適な実施例を添付した図面と共に詳細に説明する。

【0026】図1は本発明の機能を説明した全体構成図で、図中、TCは駐車カード、SCはサービスカードを示し、また、図2と図3は上記サービスカードSCの表面図と裏面図であって、このサービスカードSCの表面に形成された印字部Saには、買物客が購入した買物金額に見合った買物サービス額Sa1(買物サービスポイント)と、駐車料金サービス額Sa2(駐車料金サービ

スポイント)と、駐車料金サービスの有効日Sa3が消去を繰返しながら更新印字される仕組に成っており、また、裏面には買物客へのメッセージSeと磁気ストライプSbが設けられていて、この磁気ストライプSbには表面に印字出力されたのと同じ買物サービス額と駐車料金サービス額と駐車料金サービスの有効日が磁気書込みされるが、これ等各サービスの内容を印字せずに磁気書込みだけする場合もある。

【0027】尚、上記サービスカードSCの表面(特に印字部Sa)は、例えば、特開平4-60891号公報に記載された可逆性感熱記録材層等の使用により、サーマルヘッドを用いて印字とその消去を繰返し行なえる仕組に成っている。

【0028】図4は各種店舗の支払カウンター等に設置して使用する買上金額精算用レジスターを兼ねるPOS端末装置を示したものであって、このPOS端末装置1には上記サービスカードSCの差込口1aと、現金を収める自動引出1Rと、買物用レシートRの発行口1bと、買物金額とかサービスカードSCに記録されている各サービス額Sa1とSa2、並びに、有効日Sa3、或は、その他の買物情報等を表示する表示器2と、利用客用の金額表示器8と、買上金額とか項目を入力したり、計算を行なう場合等に用いるキーボード3と、精算キー4aと、支払完了キー4bを含む各種選択サービスキー4と、サービスカードSCに駐車用の特定コードを書込む場合に用いる駐車キー5と、POS端末装置1の動作モード切替用のキースイッチ6と、外部通信用の接続端子7が設けられている。

【0029】図5は上記POS端末装置1の電氣的構成を示したブロック図であって、CPU10とシステムプログラムを格納したメモリ11とによって構成された制御部に対して、バス12並びにインターフェイス回路13を介して上述した表示器2、金額表示器8、キーボード3、選択サービスキー4、駐車キー5、モード切替用のキースイッチ6、並びに接続用端子7が接続され、更に、時計回路14、レシート用プリンタ15、サービスカードSCに対して印字を行なうサーマルヘッド16、カード送り用モータ17、並びに、サービスカードSCの磁気ストライプSbに対して買物と駐車料金の各サービス額と有効日を磁気書込みしたり、これ等の磁気データを読取ったりする磁気ヘッド18が接続されていて、夫々がメモリ11のシステムプログラムに従ってCPU10の監視下で所定の動作を行なう仕組に成っている。

【0030】そして、以上の如く構成したPOS端末装置1には、図1に示すようにキー等の入力操作に従って買物金額を算出する買物料金計算手段と、算出された買物金額から駐車と買物の各サービスポイントを演算するサービスポイント演算手段と、挿入されたサービスカードから記録されている駐車と買物の各サービスポイントを読取るカードデータ読取手段と、この読取った各サー

ビスポイントに上記演算した各サービスポイントを加えて新たな駐車と買物の各サービスポイントを演算する新駐車・買物サービスポイント演算手段と、新たに演算された買物サービスポイントを利用して買物金額を精算する買物サービスポイント精算手段と、精算を済ませた新たな買物サービスポイント、並びに、この新たな買物サービスポイントにスライドしてマイナス精算された新たな駐車サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段と、挿入されたサービスカードに記録されている駐車サービスポイントの有効期限をチェックして、有効期限が切れているサービスポイントに付いてはこれを削除する駐車サービスポイント期限チェック手段が備えられている。

【0031】図6は駐車場（図示せず）の出口口に設置して使用する駐車料金精算機20の外観を示したものであって、図中、20aは上述した駐車カードTCの差込口、20bは上述したサービスカードSCの差込口であるが、これ等2枚のカードTC、SCを1つの差込口に順番に差込むようにしてもよい。

【0032】また、21は精算開始ボタン、22は精算中止ボタン、23は領収書発行ボタンで、24は駐車料金とか釣銭額等の表示部24aと、硬貨投入口26a並びに紙幣挿入口26bに支払われた現金の表示部24b並びに各種メッセージの表示部24cとから成る表示器、25sは各種メッセージを音声発生するスピーカ、27は釣銭と領収書の受取口を示す。

【0033】第7図は上述した駐車料金精算機20の電氣的構成を示したブロック図であって、制御部の中心を構成するCPU30と、システムプログラムを格納したメモリ31との間にバス32を介して接続されたインターフェイス回路33には、出口口の内側と外側に設けた各車輛センサ41、42と出口ゲート開閉器43が接続され、更に、各種スイッチ用ボタン21、22、23と表示器24、並びに、スピーカ25s用の音声発生装置25が接続されると共に、各差込口20a、20bに差込まれた駐車カードTCとサービスカードSCの吸排送を行なうカード送りモータ34と、カードTC、SCの磁気ストライプTa、Sbに対して各種の情報をリード・ライトする磁気ヘッド35と、駐車カードTCに対して各種の印字を行なうプリンタ36が接続され、更に加えて、基準時計信号を発信する時計回路37と、支払われた現金を数えたり、釣銭を計算したりする現金精算装置38と、差込口20bに差込まれたサービスカードSCの印字部Saに対して、買物と駐車料金のサービス額Sa1、Sa2並びに有効日Sa3を印字したり、消去したりするためのサーマルヘッド39と、領収書発行装置40が接続されていて、夫々がメモリ31のプログラムに従ってCPU30の監視の基で制御作動される仕組に成っている。

【0034】そして、以上の如く構成した駐車料金精算

機20には、図1に示すように、駐車カードの挿入に従って駐車料金を演算する駐車料金演算手段と、挿入されたサービスカードから駐車サービスポイントを読取るカードデータ読取手段と、この読取った駐車サービスポイントを用いて駐車料金を精算する駐車料金精算手段と、精算を済ませた新たな駐車サービスポイント、並びに、この新たな駐車サービスポイントに合せてスライドしてマイナス精算された新たな買物サービスポイントを、サービスカードに書替えて記録する新駐車・買物サービスポイント書替手段と、駐車サービスポイント期限チェック手段が備えられている。

【0035】次に、買物金額の精算に当たってPOS端末装置1側で行なわれる処理動作を図8に示したフローチャートに従って説明する。

【0036】始めのステップS1で買物金額が計算されると、次のステップS2に進んで駐車・買物サービスポイント（以下サービス金額・図3参照）が演算され、次いで、ステップS3で買物客のサービスカードSCが差込口1aに差込まれると、ステップS4に進んで、既にサービスカードSCに記録されている駐車・買物サービス金額に今回の駐車・買物サービス金額を加えた新駐車・買物サービス金額が演算されて、次のステップS5に進む。

【0037】ステップS5では、既にサービスカードSCに記録されている駐車サービス金額の有効期限がチェックされ、期限内である場合はステップS6に進んで再び新駐車サービス金額が再演算され、また、期限が過ぎている場合は、ステップS11に進んで期限が過ぎた駐車サービス金額を削除した新駐車サービス金額が再演算されて、次のステップS7に進む。

【0038】ステップS7では、買物金額を現金で支払うか否かが判定され、現金支払いの場合はステップS8に進んで駐車サービス金額の有効期限を更新し、更に、ステップS9に進んでサービスカードSCに対してサーマルヘッド16と磁気ヘッド18による駐車・買物サービス金額と有効日Sa1、Sa2、Sa3の書替えを行なった後、ステップS10に進んでサービスカードSCを排出して処理を終える。

【0039】一方、上記のステップS7でサービスカードSCで支払うと判断された場合には、ステップS12に進んで今回の買物金額と新しく算出された買物サービス金額が比較され、買物サービス金額が買物金額よりも少ない場合は、ステップS13に進んで不足金額を表示器2に表示し、次いでステップS14に進んで精算終了が判定されると、ステップS15に進んで新駐車・買物サービス金額を0にして上記ステップS8に進む。

【0040】また、上記のステップS12で買物金額の方がサービス金額よりも少ないと判定された場合は、ステップS16に進んで買物金額が精算され、次いで、ステップS17に進んで新駐車・買物サービス金額が演算

されて、前記ステップS8に進む。

【0041】尚、上記買物金額をサービスカードSCのサービス金額によって精算するに当っては、駐車サービス金額と一緒にスライドしてマイナス精算されるため、買物金額と駐車料金のサービスを公平に取扱うことができる。

【0042】次に、専用の駐車場でサービスカードSCを駐車料金精算機20に差込むことによって受けられる駐車料金割引サービスの処理手順を、図9に示したフローチャートに従って説明する。

【0043】始めのステップS20で駐車カードTCを挿入すると、次のステップS21に進んで通常の駐車料金が算出され、次いで、ステップS22でサービスカードSCが挿入されると、ステップS23に進んでサービスカードSCに記録されている駐車サービス金額の有効期限がチェックされ、期限内である場合はステップS24に進んで駐車サービス金額と駐車料金とが比較されて、双方の金額が同一である場合、及び、駐車サービス金額の方が多い場合には、次のステップS25に進む。

【0044】ステップS25では駐車サービス金額による駐車料金の精算処理が成され、次いで、ステップS26及びS27の順番に進んで新駐車サービス金額と新買物サービス金額が順次演算され、更に、ステップS28でこれ等新しい駐車・買物金額を、サーマルヘッド39と磁気ヘッド35を用いてサービスカードSCの印字部Saと磁気ストライプSbに書替えて記録した後、ステップS29に進んでこのサービスカードSCを排出して処理を終える。

【0045】一方、上述したステップS23で期限外と判定された場合、及び、ステップS24で駐車料金の方が多くと判定された場合には、夫々ステップS30に進んで駐車料金の不足額が算出され、次いでステップS31で表示器24にこの不足額を表示した後、ステップS32でこの不足額を精算を終えると、上記ステップS28に進む仕組に成っている。

【0046】

【発明の効果】本発明に係るサービス管理方法とその装置は以上述べた如くであって、駐車場を利用する客に対しても、また、駐車場を利用しない客に対しても、買物金額に応じた公平なサービスを提供することができ、また、店舗側にPOS端末装置を設置し、駐車場側に駐車料金精算機を設置する従来と変わらないシステムによって、買物客に優れたサービスを提供できる画期的で、且つ、経済的なシステムが構築できる利点を備えている。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の機能を説明した全体構成図である。

【図2】本発明で使用するサービスカードの表面図である。

【図3】同じくサービスカードの裏面図である。

【図4】本発明で使用するPOS端末装置の一例を示した斜視図である。

【図5】同じくPOS端末装置の電氣的構成を説明したブロック図である。

【図6】本発明で使用する駐車料金精算機の一例を示した斜視図である。

【図7】同じく駐車料金精算機の電氣的構成を説明したブロック図である。

【図8】POS端末装置による買物金額精算の処理手順を説明したフローチャートである。

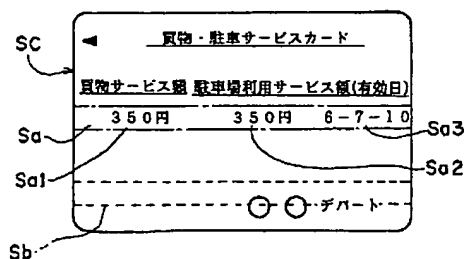
【図9】駐車料金精算機による駐車料金精算の処理手順を説明したフローチャートである。

【符号の説明】

1	POS端末装置
20	駐車料金精算機
TC	駐車カード
SC	サービスカード
Sa1	買物サービス金額
Sa2	駐車サービス金額
Sa3	有効日

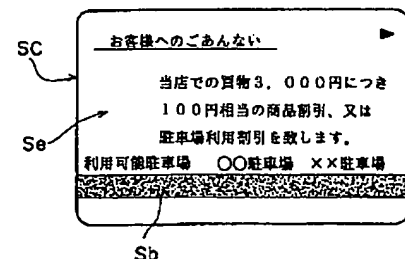
【図2】

(裏面)

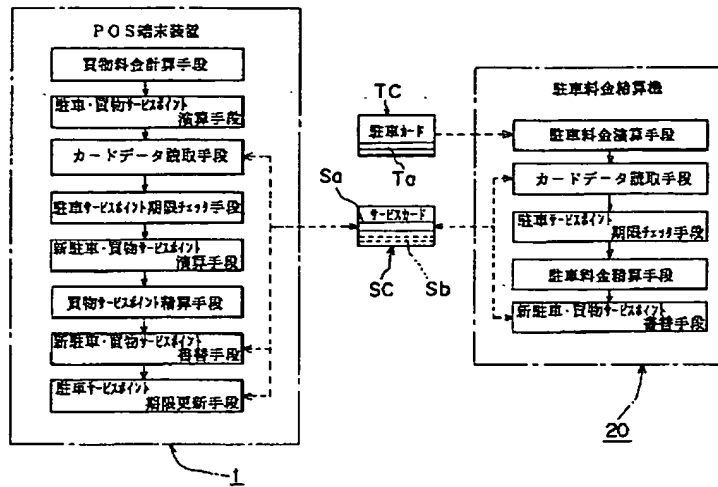


【図3】

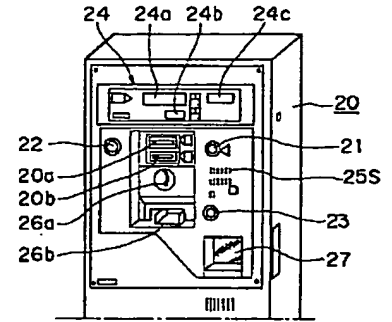
(表面)



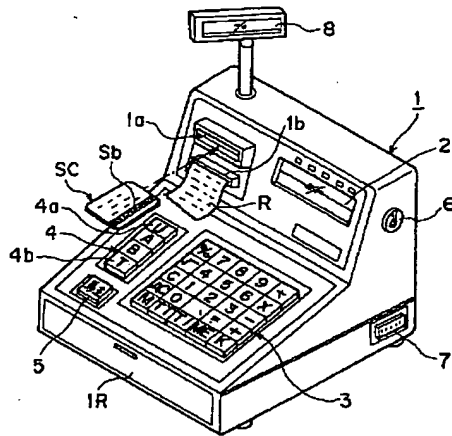
【図1】



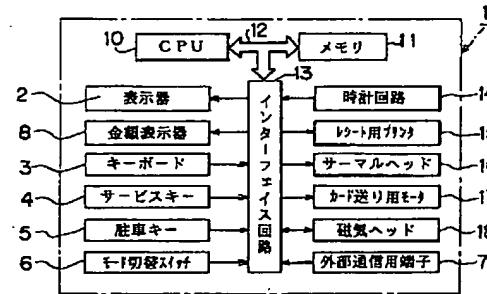
【図6】



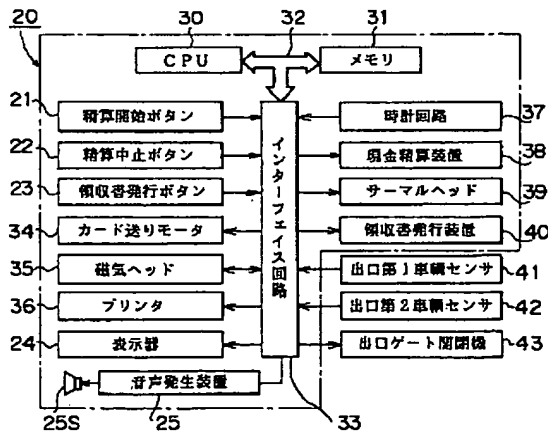
【図4】



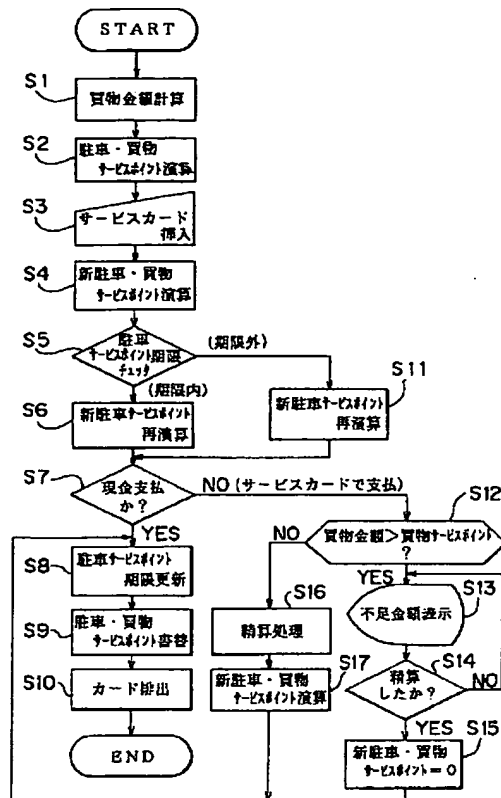
【図5】



【図7】



【図 8】



【図 9】

